

鎌倉幕府の滅亡 (1333)

↓ 後醍醐天皇 (大覚寺統) が光厳天皇 (持明院統) を廃す

➤ [a.]の新政

- ① 後醍醐天皇の親政…幕府・院政・摂関を廃止し、延喜・天曆の治を理想
- ② 天皇の[b.]による所領の安堵…武士社会の慣行を無視・恩賞の不公平
- ③ [c.] (重要政務)・雑訴決断所 (所領裁判)・恩賞方・武者所 (京都の警備) の設置

⇒土地訴訟の増加により政務が停滞し、新政を批判する二条河原の落書が書かれる

此頃都ニハヤル物 夜討 強盗 謀論旨
 召人 早馬 虚騒動
 生頭 還俗 自由出家
 俄大名 迷者
 安堵 恩賞 虚軍
 本領ハナル、訴訟人 文書入タル細葛
 追従 讒人 禅律僧 下克上スル成出者

・ [d.] (1335)

北条時行が信濃で挙兵し、鎌倉を攻略したが、足利尊氏によって鎮圧

⇒鎮圧後、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻す

↓ 尊氏は京都に入ったが敗れて一時九州へ逃れた後に勢力を盛り返す

・ 湊川の戦い (1336) …楠木正成が敗死

⇒尊氏が入京して光明天皇 (持明院統) を擁立、後醍醐天皇は京都を脱出して[e.]へ

➤ 南北朝の分立

北朝 (持明院統) ・室町幕府

南朝 (大覚寺統)

・ 尊氏が建武式目を発表…幕府を開く基本方針 17 か条

・ 足利尊氏が征夷大將軍に就任 (1338)

↓ 兄 弟
尊氏 (軍事面) と足利[f.] (司法・行政面) の二頭政治

↓ 軍事面で活躍した尊氏派の高師直の勢力が強まる

北畠顕家・新田義貞の敗死 (1338)

後醍醐天皇没、後村上天皇即位 (1339)

⇒北畠親房が『g.]』を執筆

楠木正行敗死、吉野陥落 (1348)

・ [h.] (1350～52)

{ 尊氏派 (実力で荘園侵略) VS 直義派 (法秩序の重視)
 執事[i.] 斯波氏・山名氏ら }

尊氏が直義派鎮圧のため一時南朝に降伏 (正平の一統)

乱後も足利直冬 (尊氏の子、直義養子) は南朝側について抵抗

・ [k.] (1352) …守護権力の強化

幕府が近江・美濃・尾張の3国に1年に限り

年貢の半分を徴収する権利を認める

⇒守護による荘園・公領侵略が促進され、

守護領国制の形成が進んだ

・ 2代將軍足利義詮が就任 (1358)

・ [m.]が大宰府を制圧 (1861)

⇒明から「日本国王」に冊封される

・ 3代將軍[l.]就任 (1868)

九州探題に今川了俊 (貞世) を派遣

今川了俊による九州制圧

有力守護の弱体化：土岐康行の乱 (1890) ・明徳の乱 (1891)

南北朝合一 (1392)

北朝の[n.]天皇に南朝の[o.]天皇が三種の神器を譲渡

鎌倉幕府の滅亡 (1333)

↓ 後醍醐天皇 (大覚寺統) が光厳天皇 (持明院統) を廃す

➤ [a. **建武**] の新政

- ① 後醍醐天皇の親政…幕府・院政・摂関を廃止し、**延喜・天曆の治**を理想
- ② 天皇の[b. **綸旨**]による所領の安堵…**武士社会の慣行を無視・恩賞の不公平**
- ③ [c. **記録所**] (重要政務)・**雑訴決断所** (所領裁判)・恩賞方・武者所 (京都の警備) の設置

⇒土地訴訟の増加により政務が停滞し、新政を批判する**二条河原の落書**が書かれる

此頃都ニハヤル物 夜討 強盗 謀綸旨
 召人 早馬 虚騒動
 生頭 還俗 自由出家
 俄大名 迷者
 安堵 恩賞 虚軍
 本領ハナル、訴訟人 文書入タル細葛
 追従 讒人 禅律僧 下克上スル成出者

・ [d. **中先代の乱**] (1335)

北条時行が信濃で挙兵し、鎌倉を攻略したが、足利尊氏によって鎮圧

⇒鎮圧後、**足利尊氏**が後醍醐天皇に反旗を翻す

↓ 尊氏は京都に入ったが敗れて一時九州へ逃れた後に勢力を盛り返す

・ **湊川の戦い** (1336) …**楠木正成**が敗死

⇒尊氏が入京して**光明天皇** (持明院統) を擁立、後醍醐天皇は京都を脱出して[e. **吉野**]へ

➤ 南北朝の分立

北朝 (持明院統) ・ 室町幕府

南朝 (大覚寺統)

・ 尊氏が**建武式目**を発表…幕府を開く基本方針 17 か条

・ **足利尊氏**が**征夷大將軍**に就任 (1338)

↓ 兄 弟
尊氏 (軍事面) と足利[f. **直義**] (司法・行政面) の二頭政治

↓ 軍事面で活躍した尊氏派の高師直の勢力が強まる

北畠顕家・新田義貞の敗死 (1338)

後醍醐天皇没、**後村上天皇**即位 (1339)

⇒**北畠親房**が『g. **神皇正統記**』を執筆

楠木正行敗死、吉野陥落 (1348)

・ [h. **観応の擾乱**] (1350～52)

↓ 尊氏派 (実力で荘園侵略) VS 直義派 (法秩序の重視)
 執事[i. **高師直**] 斯波氏・山名氏ら

尊氏が直義派鎮圧のため一時南朝に降伏 (正平の一統)

・ [k. **半济令**] (1352) …守護権力の強化
幕府が**近江・美濃・尾張**の3国に1年に限り
年貢の半分を徴収する権利を認める

⇒守護による荘園・公領侵略が促進され、
守護領国制の形成が進んだ

乱後も**足利直冬** (尊氏の子、直義養子) は
南朝側について抵抗

・ 2代將軍**足利義詮**が就任 (1358)

・ [m. **懷良親王**]が大宰府を制圧 (1861)

・ 3代將軍[1. **足利義満**]就任 (1868)

九州探題に**今川了俊** (貞世) を派遣

⇒明から「**日本国王**」に冊封される

↓ 今川了俊による九州制圧

有力守護の弱体化：**土岐康行の乱** (1890) ・ **明德の乱** (1891)

南北朝合一 (1392)

北朝の[n. **後小松**]天皇に南朝の[o. **後龜山**]天皇が三種の神器を譲渡